藤枝明誠など8強

サッカー（藤枝明誠ほか）

▽男子3回戦

浜松開誠館 1（1-0-0-0）0 オイスカ
清水東 2（2-0-0-1）1 静清
藤枝明誠 2（2-0-0-1）1 東海大翔洋
飛龍 2（2-0-0-1）1 浜名
藤枝東 2（1-1-0-0）0 沼津西
清水桜が丘 1（1-0-0-0）0 浜松北
常葉大橋 1（1-0-0-0）0 富士市立
静岡学園 7（3-4-0-0）0 静岡北

▽女子1回戦

東海大翔洋 1-0 桐陽
常葉大橋 7-0 磐田北
藤枝順心 7-0 静岡大成
磐田東 11-0 藤枝西

藤枝明誠―東海大翔洋　前半33分、2点目のゴールを決め、松本監督（左）に抱きつく藤枝明誠の高木＝藤枝明誠高グラウンド

負傷した仲間のため― 明誠・高木が躍動

2月の県新人大会4強同士が激突した一戦は、藤枝明誠が2―1で東海大翔洋に競り勝った。前半13分、MF高木がDF坂本の長いパスに抜け出して先制点を奪い、33分にも自身の縦パスを起点にゴールを決めた。

高木は2点目を決めると、ベンチに飾っていた背番号19だった吉田のユニホームを手に取り、ピッチで掲げた。吉田は先週の試合でひざを負傷し、入院生活を余儀なくされている。「退院した吉田に試合を見てもらうためにも負けられなかった」と高木は声を震わせた。

18日の浜松南との初戦は攻撃力を発揮できず、0―0からのPK戦でなんとか勝ち上がった。松本監督は東海大翔洋戦に「前半で3点取ってこい」と選手を送り出した。1点足りなかったが「前半は100点。でも後半は時間の使い方など賢くなかった」と同監督は相手の終盤の反撃に苦しんだことを次戦への課題に挙げた。（大山雄一郎）

静岡新聞

©静岡新聞社　無断複製転載を禁じます